



薩摩川内市立
海星中学校
平成30年12月20日発行

ターニングポイント

校長 瀧上 盛人

12月21日、長かった2学期が終了します。2学期は、体育大会や文化祭、郷土芸能、仲よし音楽会、芸術鑑賞、ふるさと職場体験学習等、多くの行事を全力で取り組んできました。生徒の皆さんは、行事を通して、達成感を味わい、自分自身の成長を感じることができたと思います。そして、何よりも、全力で前向きに取り組むことで、新たな自分を発見し、自信を持ち、自分自身が変わってきたのではないのでしょうか。

Turning point (ターニングポイント)、懐かしい響きがあります。これは、文化祭で1年生が披露した劇です。誰もが経験するターニングポイント、生徒の皆さんにもこれから先、必ずやって来きます。私も、これまで幾度となく経験してきました。昨年6月号で書いた『十五の春』も私にとって一つのターニングポイントです。しかし、一番大きなターニングポイントは、大学で出会ったY.K氏(通称ジャイアン)との出会いかもしれないと思っています。

彼は非常に前向きで、チャレンジ精神旺盛でした。彼との出会いで、引っ込み思案だった自分が何かに挑戦してみようという前向きな人間に少しずつ変わってきた気がします。彼とは、大学卒業時に二人で、ヨーロッパを3週間かけて旅をしたことがあります。イタリアの空港に着いてイギリスの空港から日本に帰る、それ以外は全て自分たちでどうにかするという旅です。英語もイタリア語もスペイン語もフランス語も話せない、オンリージャパニーズ(日本語だけ)の旅は、旅=トラベルではなく、トラブル続きでした。だからこそ、いろんな出会いがあり、日本では体験することがないくらいの各国で多くの親切に触れることができました。トラブルの度に、二人で話し合い、考え、課題を解決していききました。新学習指導要領で言われる「主体的で対話的な深い学び」といったところでしょうか。出会った方々とのコミュニケーションは、知っている英単語とほとんど身振り手振りだけでしたが、意外にも楽しい時を過ごすことができました。そして、多くの親切に触れると共に、日本の良さを再認識することができました。この経験は、自分を大きく成長させてくれたと今でも思っています。

人は変わることができます。そのきっかけが、人との出会いであったり、体験であったりするのではないかと思います。多くの人と出会い、前向きに行動した結果が、あとになって振り返ってみるとそこがターニングポイントとなっている気がします。

2019年が、どんな出会いがあり、どんな体験が待っているのか考えると、ワクワクします。皆さんにとっても、2019年が良い年になることを祈っています。

海星魂! 持久走大会



12月14日(金)に持久走大会を実施しました。コースは男女ともグラウンドを3周し、男子は長浜漁港の手前を折り返しの5km、女子は下甕環境センターで折り返しの3.5kmで競い合いました。

生徒は目標タイムを設定して、体育の授業や朝の練習に励みました。生徒の中には、倒れ込むようにゴールする姿も見られ、その意気込みが伝わってきました。そして、女子の部で新記録が生まれました。おめでとうございます!

沿道では多くの保護者・地域の方々が温かい声援を送ってくださいました。そのあと押しもあり、完走できたのが何よりの収穫でした。また、安全確保のため御協力をいただきました保護者の皆様方に感謝申し上げます。

～大会記録～

- 男子の部(5km)
 - ① 3年 村尾 翔夢 (21分16秒)
 - ② 1年 岩脇 孝真 (21分27秒)
 - ③ 2年 岩崎 隼人 (21分55秒)
- 女子の部(3.5km)
 - ① 2年 前多 夏海(新) (14分08秒)
 - ② 2年 瀧上 彩花 (18分24秒)
 - ③ 1年 松本 香凛 (19分47秒)



緊張? あせり?

～生徒の感想より～

- 5kmを走らないといけなく、もうダメかと思ったけど、皆が応援してくれて完走できました。(1年 東さん)
- 10分間走や体育の授業での練習を頑張ってきました。最後の坂はすごくきつかったけど、山田先生のアドバイスや応援で完走することができました。(2年 瀧上さん)
- とても寒くて大変でしたが、去年より15秒早くなっていてとてもうれしかったです。(3年 村尾さん)

冷静に! 避難訓練



12月11日(火)に地震を想定した避難訓練を実施しました。生徒は避難経路を確認し、放送の指示で迅速に校庭に避難しました。指導講話の中で下甕分駐所の東園さんから地震発生時の行動・津波の危険性(速さはボルト級)等わかりやすく教えて頂きました。学校長が「冷静に行動するために、知識を得ることが大切」と講評され、生徒代表(岩脇孝真さん)は「地震が甕島近くの断層で起こったときに津波が1分で到達することを知りびっくりしました。避難方法等学んだことを実践できるようにしたいです」とお礼の言葉を述べました。「備えあれば憂いなし!」

甕島の方言を大切に!

12月10日(月)に講師に窪菌晴夫先生をお招きして「甕島方言を大切に」を学びました。方言の多様性『ありがとう=どうも(東日本)、おおきに(関西)、ごめんない(鳥取)』やアクセントの違いで『あめ』が、地域によって雨や



飴になることを一緒に話して学びました。また、「方言は財産で有り、一度失えば、復元、復活は不可能」「方言を守るには自分の方言に誇りを持つ」そして「使う」ことが大切と講演を締められました。

～生徒の感想より～

- 祖父母が話す甕島の方言を私も話すことができるようになりたいと思いました。(3年 風音)
- 長い間住んでいるのに甕島の方言を全く知りませんでした。イントネーションの違いなども知り、これから方言を大切にしたいです。(2年 晴)
- 沖縄の方言の復元は不可能だと聞き、甕島では私たちがしっかり学んでずっと続いてほしいと思います。(1年 香凛)

雑巾への思い



12月4日(火)市教委から美化活動に積極的に取り組んでいる学校の選定を受け、県法人会連合会女性部より雑巾を50枚頂き、贈呈式を行いました。中野さん(女性部会長代理)より「雑巾



を絞り、学校を綺麗にすることで勉強の場、友達と切磋琢磨し、仲良く過ごす場を大切にしてください」と思いを伝えて頂きました。生徒代表の前多夏海さんが「学校を益々綺麗にしていくために、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。」と感謝の言葉を述べました。

～各種表彰及び大会結果～

- 第3回南さつま「いろは」まごころ短歌大会 佳作 2年 瀧上 彩花さん 「数学の計算よりも早く解く これ+あれ=予算オーバー」
- 実用英語技能検定 3級合格 2年 瀧上 彩花さん

| 月 | 日 | 曜 | 主な行事 |
|---|----|---|----------------------|
| | 1 | 火 | 元旦 |
| | 7 | 月 | 鬼火焚き(鹿島地区) |
| | 8 | 火 | 始業式 大掃除 いじめのない学校作りの日 |
| | 9 | 水 | 3年第4回実力テスト ～10日 |
| 1 | 11 | 金 | 中期交流学习 入学説明会 授業体験 |
| | 16 | 水 | 鹿児島学習定着度調査 ～17日 |
| | 22 | 火 | 人権教育男女参画社会ワークショップ |
| | 26 | 土 | 県下中学校新人バレーボール大会 ～27日 |
| | 30 | 水 | 学校運営協議会 |

